

25/5期通期決算を発表、Q4の受注好転が印象的

Q4 Flash

 URBAN DEVELOPMENT &
CIVIL ENGINEERING, CONSULTANTS
 株式会社 オオバ

決算サマリー

- 7月10日、オオバは25/5期Q4決算を発表した。25年5月期の通期業績は、売上高が前年同期比9.8%増の18,096百万円、営業利益が同5.1%増の1,936百万円。売上高は会社計画（売上高17,500百万円）を上回ったものの、営業利益は計画（1,950百万円）をやや下回った。
- 25年2月～25年5月（3ヶ月）業績で特筆すべきは、受注高の好転であろう。Q4の受注高は前年同期比11.0%増の4,550百万円と2桁増となった。主力の建設コンサルタント領域において、まちづくり分野や設計分野を中心に受注が伸長。Q2-Q3は受注高が減少傾向にあった中、Q4で受注が回復し、かつ上流工程である設計領域で高い受注の伸びを示した点は好印象である。
- 一方、Q4末の受注残高は前年同期比7.4%減の9,459百万円となった。前期は、事業ソリューション領域にてQ1に多額の一過性収益を計上したため、全社では反動減の要因が影響した。ただし、主力の建設コンサルタントの受注残高は同5.7%増の8,717百万円と、実力値ベースでは堅調な受注残高の積み上がりが続いている。
- 26/5期の会社計画は、売上高が前年同期比6.1%減の17,000百万円、営業利益が2,000百万円と減収増益を計画。売上高は、上述した事業ソリューションにおける多額の一過性収益の反動減影響を受けると推測される。一方で、1) 前期Q1の多額の一過性案件は収益性が低かった、2) 主力の建設コンサルタント領域での受注・収益性が堅調、などから15期連続の営業増益を目指している。なお、通期DPS計画は前年と同じ42円（配当性向47.6%）を計画している。

決算期	売上高 (百万円)	YoY (%)	営業利益 (百万円)	YoY (%)	当期純利益 (百万円)	YoY (%)	EPS (円)	DPS (円)
2022/5期	15,933	0.4	1,582	18.6	1,085	27.3	66.98	23.00
2023/5期	15,647	-1.8	1,714	8.3	1,075	-0.9	66.74	24.00
2024/5期	16,485	5.4	1,842	7.4	1,339	24.6	83.70	37.00
2025/5期	18,096	9.8	1,936	5.1	1,334	-0.4	83.68	42.00
2026/5期(会予)	17,000	-6.1	2,000	3.3	1,400	4.9	88.15	42.00

出所：同社IR資料より SIR作成

チームカバレッジ

research@sessapartners.co.jp



本レポートは当該企業からの委託を受けてSESSAパートナーズが作成しました。詳しくは巻末のディスクレームーをご覧ください。

ディスクレーマー／免責事項

本レポートは対象企業についての情報を提供することを目的としており投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。本レポートに掲載されたデータ・情報は弊社が信頼できると判断したのですが、その信憑性、正確性等について一切保証するものではありません。

本レポートは当該企業からの委託に基づきSESSAパートナーズが作成し、対価として報酬を得ています。SESSAパートナーズの役員・従業員は当該企業の発行する有価証券について売買等の取引を行っているか、または将来行う可能性があります。そのため当レポートに記載された予想や分析は客観性を伴わないことがあります。本レポートの使用に基づいた商取引からの損失についてSESSAパートナーズは一切の責任を負いません。当レポートの著作権はSESSAパートナーズに帰属します。当レポートを修正・加工したり複製物の配布・転送は著作権の侵害に該当し固く禁じられています。



SESSAパートナーズ株式会社

東京都港区麻布十番2-8-14 i-o Azabu 5a
info@sessapartners.co.jp